

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国際看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	通年	教室名	各教室
担 当 教 員	鎌田 麻美	実務経験とその関連資格	大学病院・福祉施設などでの勤務経験あり。 島根大学大学院博士前期課程修了。			
《授業科目における学習内容》						
国際看護では世界の健康問題と看護の現状と課題をふまえ、看護の国際協力の活動内容の実際を知り、諸外国で展開される、看護実践や国際的な支援活動について学び、国際的視野を広げる。 海外研修による他国の保健分野の基本的な知識を学ぶ。また、他国の健康問題を理解し、保健医療供給体制、保健医療実践の実態を知る。						
《成績評価の方法と基準》						
出席並びに課題提出状況、授業参加状況等により総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座、災害看護・国際看護 医学書院						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書や資料を事前に読んでおくこと、授業開始時または終了時に示す課題を実施すること						
《履修に当たっての留意点》						
講義には既習の学習内容を踏まえた内容がたくさんあります。それらの知識を活用しながら学習してください。日頃からメディア・新聞・雑誌などの情報に関心を持ちましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際看護学についてまとめることができる		教科書 配布資料	指定した教科書や資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	求められる国際看護学 国際看護学とは			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	グローバルヘルス・国際協力のしくみについて説明することができる		教科書 配布資料	指定した教科書や資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	グローバルヘルス 国際協力のしくみ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際看護活動の展開過程 ・開発協力と看護について説明することができる		教科書 配布資料	指定した教科書や資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	国際看護活動の展開過程 開発協力と看護			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国際救援と看護について説明することができる		教科書 配布資料	指定した教科書や資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	国際救援と看護			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	21世紀の国際協力の課題についてまとめることができる		教科書 配布資料	指定した教科書や資料を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	21世紀の国際協力の課題			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	他国の健康問題を理解し、保健医療供給体制、保健医療実践の実態について説明することができる	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	海外研修		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	他国の健康問題を理解し、保健医療供給体制、保健医療実践の実態について説明することができる	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	海外研修		
第8回	講義 形式	授業を通じての到達目標	他国の健康問題を理解し、保健医療供給体制、保健医療実践の実態について説明することができる	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	海外研修		